

# 壮春力歩

鈴木 末一



呱呱の声を挙げて早15年の年輪を刻んできました。「たかが15年、されど15年」とは言え、無から有への生みのエネルギーは筆舌に尽くしがたいものであったことと思います。

草創期から発展期、そして充実期へと着実に歩を進め、輝かしい足跡が印されてきました。

設立当初から自然観察会、野鳥観察会、歴史・文化ウォーク、講演会など、盛り沢山のイベントを企画し実施されたことが、草創期の会報誌に記されています。当初の意気込みが、今日迄連綿として受け継がれています。

15年が経過した今日、「わたしたちは大和の自然を愛します」の合い言葉の下、良識ある個性と自己実現を大切にしていかなければなりません。

記念すべき節目の年に当たり、これからの5年10年という中長期に亘るビジョンを明確にする出発点であります。

そのために、次のような方針・理念と事業を進めてまいります。

- 1、会員間の親睦を深め、絆を強めるために、お一人お一人が主役であること。
- 2、より一層地域社会と連携を図りつつ、市民活動としての礎を強化。
- 3、記念事業推進体制作りを努め、過去と未来を繋ぐ節目に相応しい活動。
- 4、「ならやまユートピア」構想の具現化。
- 5、シンクタンク的な先達グループの創設。
- 6、既存の三本柱にクラブ活動も含めた、総合的な組織体制の構築。

以上、重責を担うに当たり、決意の一端を申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

どうかよろしくご指導ご鞭撻賜りますよう衷心よりお願い申し上げます。

(平成28年6月)

